

共同子育て広場おひさまの事業及び活動

報告とご案内

※すぎの子共同保育所（保育事業）

1～5歳児までの保育を行っています。
平成20年度、園児募集についての見学説明会(毎月第3土曜を予定)
対象年齢 平成14年4月2日生まれから平成19年4月1日生まれまで
第1回 2007年9月15日(土)午前10時より
給食試食あります。5組まで。要予約。大人300円、子ども200円

9月15日の
見学説明会に
来て下さい!



※園開放事業

第1、第3土曜日、午前、保育所を開放して音楽リズムや親子で楽しむことのできる季節の遊びなどを企画しています。

※おひさま通信発行

会員や卒園児、保護者を結ぶ機関紙。年間3回、おひさまの諸事業、すぎの子共同保育所の子どもたちや園開放に参加された子どもたちのようす、行事案内を掲載し発送しています。

※共保まつり 2007年11月3日(共催事業 日程は予定)

毎年恒例のおまつり。ぜひお越しください。OB及びOB保護者の実行委員会参加も大歓迎です。

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま 第4回通常総会 報告

- ※2007年5月19日(土)午後1時30分より、第4回通常総会が開催されました。平成18年度事業および収支決算、新園舎建設資金について事務局より報告がありました。19年1月から新園舎での保育を開始、講演会や園開放事業、通信発行などおひさまの活動が報告され、監査報告後、全会一致で承認されました。
- ※役員任期満了につき改選の件について、議長より退任者、新任者の報告があり、全会一致で下記の理事が選任されました。
理事 安本 佳代子 武市 史 吉田 真由美 生櫻 美恵 竹田 多美子
山口 恵子 伊藤 功 大西 由紀子 鎌田 茂孝 楠藤 温子
監事 船越 昌一
- ※おひさまの組織運営および平成19年度事業方針・事業計画(案)、予算(案)について、4年後には債権の支払いがあることから健全な経営が行えるよう努力していくこと、保育事業をはじめ、「おひさま」を広く知らせる活動や事業を工夫、企画し、保護者会など多くの人々と共同して保育や諸行事を進めていくことが提案され、全会一致で承認されました。
また、これまでの20年の保育を再確認しながら、子どもを真ん中に保育していくことやすぎの子共同保育所の保育を土台としておひさまの活動をしていくことが伝えられました。

会員募集 みなさんの力でおひさまの活動を支えてください。

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさまは、みんなで知恵と力を出し合い、共同して子育てに取り組もうと考えました。子育てが楽しくなる、子どもの目が生き生きと輝く活動に取り組めます。行事に参加できる、できないに関わらずおひさまを応援したいという方などご入会をお待ちしております。

- ◎ 正会員 入会金 なし 年会費 5000円 イベント割引 総会決議権
- ◎ 賛助会員 入会金 なし 年会費 一口1000円 イベント割引

寄付・債券のお願い

新園舎建設に2165万円の債権を寄せていただきました。2010年度からの債券返済のため引き続き寄付、債券をお受けしております。今後ともよろしく願いいたします。

会費、寄付、債券振込口座および振込名義
郵便振替口座 01610-2-93045
口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

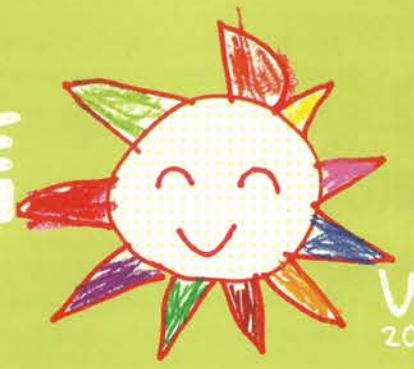


*ホームページあります。おひさま <http://npo-ohisama.org/> 保育所 <http://www.kyoho.org/>

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

おひさま通信

〒779-3125
徳島市国府町早瀬字雀ヶ原218番6
Tel/Fax 088-642-5933



VOL.3
2007年9月15日

共同保育所の日



年長児は、朝8時30分に登所し、8時35分になると係活動(はぎそうじ、ぞうきんがけ、うさぎの世話)が始まります。4歳児も長い廊下をぞうきんがけします。

9時過ぎにクラス活動が始まり、丈夫で、健康でしなやかな身体づくりのひとつとして、毎日、音楽リズムに取り組んでいます。新園舎の広い部屋と廊下までも使い、気持ちのいい環境でリズムができています。

引越してから8ヶ月、暑い夏を迎え、共同保育所の子どもたちは毎日プールに入り、野菜の世話をし、収穫を楽しんでいます。



プール遊び

プール開きの日、カッパの国のカッパ大王から魔法の水と、カッパの国のきゅうりが届きました。「たくさん泳げるように」「みんなとなかよく遊べるように」「ケガがないように」と添えられている手紙に書かれていました。プールが始まった頃、水がかかるのが嫌だったり、顔を水につけるのが怖かった子に、仲間同士で「はなつまんでかおつけたらいたあないわ」とか「さいしょはあごからみずにつけるんよ」などと、教えあう姿がみられました。仲間の泳いでいる姿やもぐっている姿を見て、自分もしてみたいと「意欲」が出てきて挑戦し、それが出来た時、子どもにはおおきな自信になります。

今では、水の中で自由自在に身体を動かし仲間と共にプール遊びを満喫しています。

子どもたちの畑

子どもたちの近くで野菜の成長が見え、お世話ができるようにと、園庭の一角に畑を作りました。石ころを拾い、土を耕し、たくさんの方々の協力と子どもたちのがんばりで、立派な畑になりました。なすにつるむらさき、きゅうりにトマト。いろいろな野菜を植えると、自分たちの植えた野菜の育ちをとても楽しみにし、保育室から見える野菜の実に「うわあ、ようけなっとう」「はよとらなくさってしまう」「あかちゃんができとう」と収穫する日を楽しみにしています。

かぼちゃやすいかの実がなった時には、「なんかしましませんができとう」「すいかのあかちゃんやな」「かぼちゃじゃないみたい」とつるや葉に隠れた小さな実をのぞきこんでいました。

収穫した野菜は、その日の給食に出たり、自分たちでクッキングして食べることもあります。

土を耕すことから始めた畑づくり。種まきや苗の植え付け等、世話をする大変さや、大切に育てた野菜を収穫する喜びや味わう体験は、五感を育てることにつながると思っています。





1歳児虹ぐみ
中川憲哉

虹ぐみの担任になり、はや半年が過ぎました。担任の夏は、休みになると波乗りをしに海へ行きましたが、上手くならず…。それにくらべて子どもは、最初水が苦手だったけれど、プールに入ることによって好きになり、ワニ歩きや頭からのシャワーなどができるようになりました。また、空ぐみと一緒に生活することで歳の差を感じさせない成長ぶりが見えます。今年の虹ぐみの目標は、進級に向けて基本的な生活習慣を身につけ、自信をつけることです。



2歳児空ぐみ
橋本健作



2歳児空ぐみ
畑明日香

保育士としては2年目、共保では1年目のまだまだ「新米」な私ですが、「元気いっぱいに過ごす」ということを、保育所での生活を通して自分自身が子どもの手本となれるよう心がけています。まだまだ未熟な点も多々ありますが、子ども達とともに成長していきたいです。よろしくお祈りします。(橋本)

共保で働きだして2回目の夏が終わろうとしています。毎日、子どもよりも真っ黒になりながら楽しく過ごしています。少しのことでも、様々なステキな反応を見せてくれる子ども達。保育の仕事っておもしろい！と思っている今日この頃です。(畑)



3歳児星ぐみ
山下桂子

共保で勤めて5年が過ぎました。毎日あつという間ですが、いろいろな学びがあります。1歳児クラスから持ちあがり、3歳児クラスを担当しています。とってもかわいい時期を一緒に過ごし、いろいろな成長を見ることができて嬉しく思っています。これからも、保護者と一緒に子ども達の成長を喜び合い、見守っていききたいと思います。毎日の暑さにも負けず、子ども達は元気いっぱいです。夏のプールも残りわずかとなりました。プールの中でもぐったり、じゃんけんなど、いろいろな遊びを友だちと楽しそうにしています。友だちといて楽しいと思える集団づくりを目指したいと思っています。



職員紹介

すぎの子共同保育所 保育所を支えるスタッフです。よろしくお願いします。



4歳児月ぐみ
落合輝紀

両親がこどもの遊び場を作るボランティアをしていて影響を受け、保育士を志しました。こどもたちは毎日、友だちと一緒にプールやリズムで身体を動かし、園庭の野菜、虫などからたくさんの刺激を受けています。こうして揺り動かされた思いは会話や表現となってどんどんこどもから溢れ出してくるので、その話を聞くのがすごく楽しい時間となっています。興味をもったことにどんどん挑戦していく力、新体験や新知識を得ることが気持ちいいと感じる感性は楽しい毎日の生活で育まれていくと思うので、こどもの想いに耳を傾けながらこれからも保育をしていこうと思っています。



5歳児地球組
原利恵

共保に勤めてから6年が過ぎました。今は5歳児地球組を担当しています。男の子5名、女の子6名の11人クラスです。私はたまに忘れ物をしてしまうことがあり、その度に子ども達には「忘れんぼのとしえ」と歌われています。保育士としてまだまだ未熟ではありますが、日に子ども達と過ごす中でたくさんのことを学んでいき、子ども達と共に成長していきたいと思っています。毎日暑い日が続きますが、子ども達は元気に過ごしています。晴れた日はプールに入り、泳ぎこんでいます。プールが始まった頃は、水が顔にかかるのが嫌だった子ども、今では顔をつけたりもぐったりと成長が見られています。仲間同士で顔のつけかたやもぐり方などを教えあう姿も見られました。自分達で話し合い、見通しをもって行動ができ、そして仲間を大切に思える集団をつくっていききたいと思います。



施設長・フリー
武市史

今年度、フリーの立場になり責任の重さをひしひしと感じながら落ち着かない日々を過ごしています。今までになかった事務室で仕事をする私に、「フミちゃん、ナニシヨン?」「キョウハ、ドコデ、キュウショクタベルン?」と声をかけてくれる子ども達。嬉しいひとときです。又、全クラスの子供達と関わられる毎日をごさせてもらっています。



給食室
岡田京子
竹田多美子

共保に勤めてはや12年…魔法使いになるのも間近?! こんな私の趣味は①子どもたちの笑顔を見ること! ②食べる事! ③家にいないこと!! どうぞこれからも温かく見守ってください。(岡田)

「保育所ばかり…もっと遊んだほうがいいよ」共保でお世話になった2人の子供たちにこうアドバイスされるこの頃。栄養士として仕事をするのは5年目。信頼される栄養士になりたいなあと思っています。(竹田)

収穫したトマトやナスを握りしめて給食室まで持ってきてくれる子どもたち。食べるのが楽しい!! そんな子どもたちに育ってほしいなあと、季節の安心できる食材で、おいしくなりますように呪文をかけながら給食を作っています。

園開放事業 報告

NPO法人共同子育て広場おひさまでは、子どもの健全育成のための子育て支援として、園開放事業を実施しています。

今年度前半は、音楽リズムをしました。毎回在園も含めたたくさんの参加がありました。新園舎の遊戯室を開放するとさわやかな風が外から吹きこんできて、裸足で木の床のぬくもりを感じながら思いっきり身体を動かすことができます。アンケートでは、親子で一緒に楽しめたとの声を多くいただきました。音楽リズムは、日々保育の中で取り組んでいます。生のピアノ演奏にあわせて、動物などに模し、走ったり止まったり跳んだりしたり…。子どもたちの大好きな活動のひとつです。園開放では、リズムの動きがどのように子どもの身体の発達に関係するのかも伝えています。『ひとつひとつの動きの大切などがよくわかり、どこに刺激になっているのか教えてもらいながらだったので、充実していた。』等の感想もよせられました。『来るたびに雰囲気が好きになります。』と、継続して参加して下さる方も増えてきました。子どものキラキラした表情に、企画側の私たちも嬉しくなり、より参加してみたい園開放にしていきたいと考える励みになっています。今後も、音楽リズムを中心に、調理実習(心とからだがよるこぶ子どもの食事)・季節の制作等の活動を予定しています。どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。お待ちしております。



これからの予定

『運動会ごっこしよう』

10月20日(土)
9:00~10:00
持ち物:着替え・水筒
参加費:大人200円・子ども200円
(会員本人構は無料)
室内で、音楽リズムや体育遊びをしようと思います。
保育所にお申し込みください。



【音楽リズムをしよう】
9:00~10:00

4月21日(土)参加
大人4名・子ども4名



5月19日(土)参加
大人14名・子ども19名

6月16日(土)参加
大人11名・子ども15名

【プールで水遊びをしよう】
9:00~10:00

9月1日(土)参加
大人7名・子ども10名



すぎの子共保に入所して4ヶ月すぎたある日、ラジオ体操のおみやげにもらった「う〇い棒」とこんべいどうをうれしそうに食べ始めました。甘いもの、味の濃いものが大好きな子ですが、「このおかしおいくない。給食の先生のおやつの方がおいしい。もういらぬから、これ捨てて。」と言ったのです。びっくりしてうれしくて…。素材の味ややさしい味付にいつの間にか変わっていたんですね。私にはできなかった味覚を見事に4ヶ月で育て直して下さって感謝しています。少しずつですが、家でできる共保教(共)育をまねして実践しています。板部 妙子(4歳児月組・時大君のお母さん)



保護者の声

医療(医師、看護師)をめざす医療系学生に人間性・人間関係教育を

徳島大学 ヘルスバイオサイレンス研究部医療教育開発センター 特任助教 長宗 雅美

徳島大学では、平成18年度より文部省の補助金(現代GP)を受けて、すぎの子共同保育所の協力を得て幼児との体験型コミュニケーション実習を行っています。この実習の目的は、①継続的な乳幼児との関わりの中から、ホスピタリティ・マインドを実体験として学び、自らの人間関係を見直す機会とし、将来真に人と向き合える医療者を育てる一助とする。②学生の交流を通して、地域の子育てを支援する。というものです。

10回の実習を通して「相手の立場を考慮すること」「積極性」「聞く態度」が身についたと学生たちは言います。パートナー(子ども)とのコミュニケーションを頭で考えるのではなく、どうしたら喜んでくれるだろう、笑ってくれるだろうなど、相手のために何が出来るだろうと自然に考えることができていたように感じています。この授業は、講義や教科書からでは得られない学びであり、実習を見守る大人たちにもたくさんの気づきを与えてくれます。テレビゲームやパソコン、携帯電話。一方で、肌と肌を触れ合い、笑ったり泣いたりしながら人間関係を築く体験が少なくなっている現在、交流を通して子どもの笑顔やぬくもりに心揺さぶられ、相手も自分も大切な存在だと感じることが出来るこの体験は、医療従事者をめざす者として大きな意味を持つと考えています。

